

環境福祉委員会会議記録

環境福祉委員会委員長 神崎 浩之

- 1 日時
令和元年 12 月 11 日（水曜日）
午後 1 時 9 分開会、午後 1 時 13 分散会
- 2 場所
第 5 委員会室
- 3 出席委員
神崎浩之委員長、岩城元副委員長、名須川晋委員、千葉伝委員、米内紘正委員、
小野共委員、佐々木努委員、千田美津子委員、木村幸弘委員、小林正信委員
- 4 欠席委員
なし
- 5 事務局職員
上野担当書記、千葉担当書記、前田併任書記、駒木併任書記、尾形併任書記
- 6 説明のために出席した者
保健福祉部
野原保健福祉部長
高橋副部長兼保健福祉企画室長、
阿部保健福祉企画室企画課長、
佐々木健康国保課総括課長
- 7 一般傍聴者
0 人
- 8 会議に付した事件
保健福祉部関係審査
(議 案)
議案第 29 号 令和元年度岩手県国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）
- 9 議事の内容
○神崎浩之委員長 ただいまから環境福祉委員会を開会いたします。
これより、本日の会議を開きます。
本日は、お手元に配付いたしております日程により議案の審査を行います。
議案第 29 号令和元年度岩手県国民健康保険特別会計補正予算第 3 号を議題といたしま
す。
当局から提案理由の説明を求めます。

○高橋副部長兼保健福祉企画室長 保健福祉部関係の補正予算について御説明申し上げます。

議案第 29 号令和元年度岩手県国民健康保険特別会計補正予算第 3 号について説明申し上げます。議案その 3 の 4 ページをお聞き願います。岩手県国民健康保険特別会計につきましては、5 ページから 6 ページにかけまして、歳入歳出予算それぞれ 2,014 万 5,000 円を増額しようとするものであり、補正後の予算総額は、1,135 億 7,061 万 3,000 円となるものであります。補正の内容につきましては、予算に関する説明書により説明いたします。

恐れ入りますが、予算に関する説明書の 13 ページをお聞き願います。まず歳入として、2 款国庫支出金 2 項国庫補助金、1 目調整交付金に、国の特別調整交付金の 2,014 万 5,000 円を計上するとともに、14 ページに参りまして、歳出として、2 款国民健康保険事業費 1 項国民健康保険事業費 1 目保険給付費等交付金に、県から市町村に対する特別交付金 2,014 万 5,000 円を計上し、令和元年台風第 19 号の被害発生に伴い、市町村が被災した国民健康保険の被保険者にかかる医療費の一部負担金を免除する場合、これに要する経費に対し、国の特別調整交付金を財源として、特別交付金を交付しようとするものであります。

以上が、国民健康保険特別会計補正予算の内容であります。よろしく御審議のほどお願いいたします。

○神崎浩之委員長 ただいまの説明に対し、質疑はありませんか。

○千田美津子委員 台風第 19 号被害で被災した市町村が免除した場合ということなのですが、県内の市町村がほぼ全市町村でやる見込みなのか、その場合の対象人数がわかれば教えてください。

○佐々木健康国保課総括課長 今回の措置ですが、国において特別な財政措置とするということで、必要な財源の 10 分の 10 を措置するというところでスタートした事業でございます。対象となる市町村は、県内で災害救助法が適用された 14 市町村になりますが、現在のところ、対象者がいる市町村については、全市町村で実施する予定であります。対象人数ですが、予算の計上額につきましては、当初住家被害の状況から推計した人数を用いております。推計上は、議案等説明会でも御説明したとおり、大体 350 世帯、550 人を見込んでおりましたが、その後、各市町村で免除申請書の交付が進んでおり、当課において 12 月 5 日現在で対象者を把握したところ、495 人ということで把握しております。

○神崎浩之委員長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神崎浩之委員長 ほかになければ、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神崎浩之委員長 討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案を可とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**神崎浩之委員長** 御異議なしと認めます。よって、本案は原案を可とすることに決定いたしました。

以上をもって、付託案件の審査を終わります。以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。本日は、これをもって散会いたします。